

多様な資源で 暮らしを支える地域づくり

～地域共生社会の実現を目指して～



令和8年3月18日

令和7年度 桑名市地域包括支援センター 事業発表

桑名市地域包括支援センター各圏域のそれぞれの特徴



東部

- ・ 駅周辺に多い集合住宅
- ・ 旧市街地の高齢化



北部西(大山田)

- ・ S54～名古屋のベッドタウン
- ・ 造成地区毎に高齢化率が急上昇



西部

- ・ 住宅地と農村部が混在する
- ・ 移動にのるーとが利用できる
- ・ 各地区にまちづくり協議会がある



北部西(多度)

- ・ 農村部が大半で高齢化率高い
- ・ 車が無いと通院・買い物が困難



南部

- ・ 市営住宅の高齢化
- ・ 湾岸桑名 I C 付近は交通手段が少なく移動が困難



北部東

- ・ 長島、深谷は高齢化率が高い
- ・ 農村部は車がないと不便
- ・ タクシーがなかなか来てくれない



同じ市内でも地域によって少しずつ特徴は異なる

1. 地域で暮らす高齢者の課題

大きな転換点を迎える社会

2025年問題



団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり高齢化が加速する

- ①社会保障費（医療・介護）の増大 ②医療・介護体制の維持困難化

2030年問題



人口の3分の1が高齢者となり生産年齢人口不足の深刻化

- ①労働力不足の深刻化 ②社会保障の持続可能性 ③地域間格差の拡大

2040年問題



人口減少と共に団塊ジュニアが高齢者となり高齢化がピークに達する

- ①社会保障の危機 ②労働力不足の危機 ③インフラの老朽化

社会全体が老いてゆくステージに突入している

高齢化の進展と共に多様化する高齢者

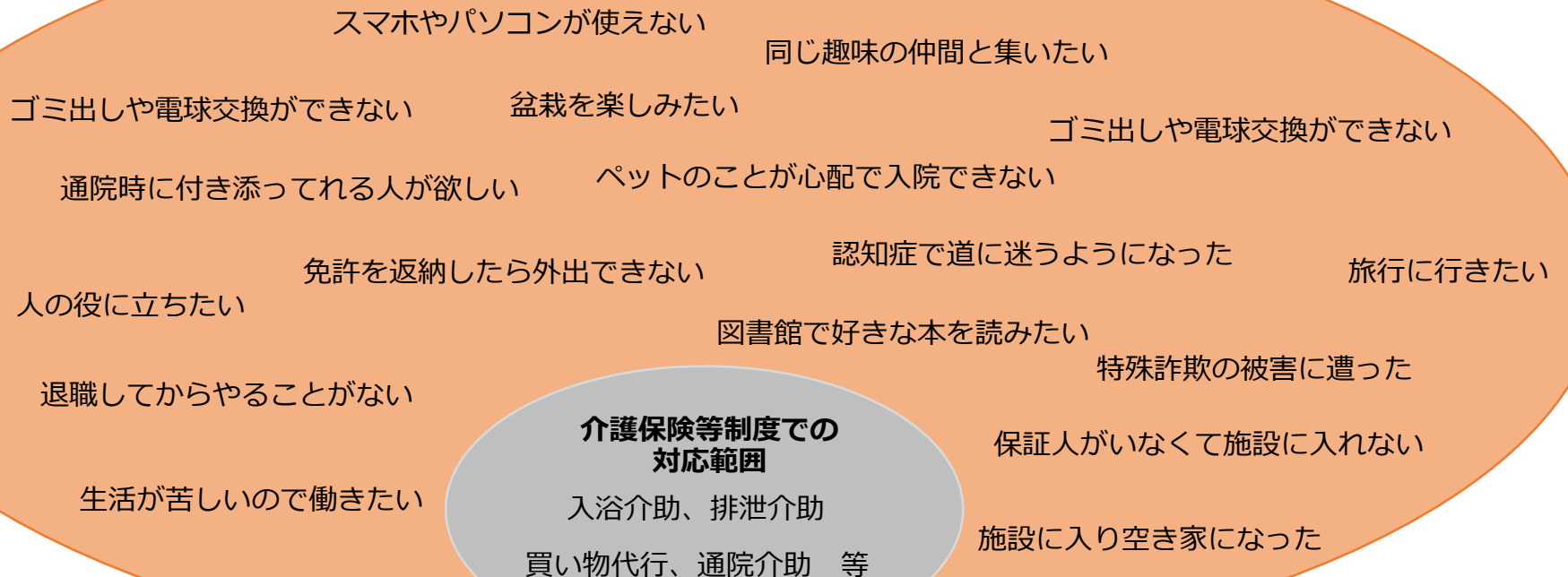
健康状態	90歳以上を超えても元気な高齢者がいる一方で、介護保険認定者は年々増加しており、市内では約6千人の高齢者が認定を受けている	
生活	定年後も就労している方や孫の世話や家事をしたり、趣味を楽しんで生活している方もいる一方で、役割や楽しみを失っている高齢者もいる	
人間関係	家族や友人、地域との交流を楽しんで豊かな人間関係を築いている方もいる一方で、自宅に閉じこもりがちで孤独な高齢者もいる	
経済状況	持ち家で生活するのに十分な貯蓄や年金がある方がいる一方で、年金や貯蓄も少なく生活に困窮していたり借金で苦しんでいる高齢者もいる	

高齢者の多様化に伴いニーズも多様化している

既存の制度は対応できないニーズが増加

介護保険制度など既存の制度では対応できない
高齢者のニーズが増加している。

介護保険等制度では対応できないニーズ

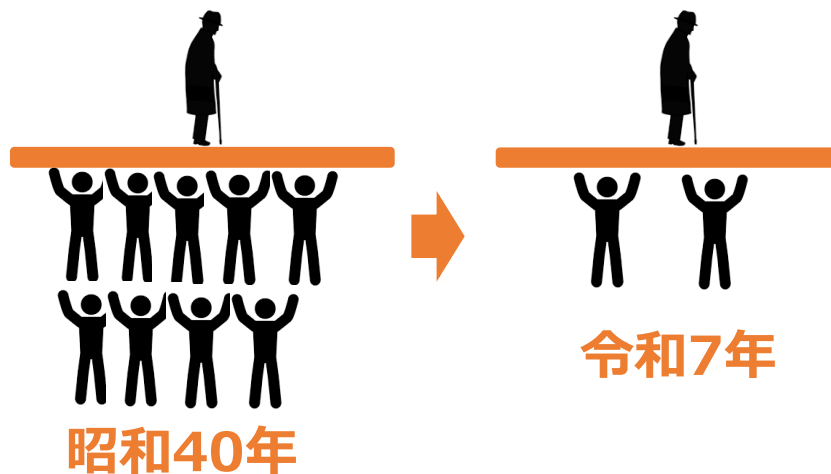


少子高齢化の進行がニーズをより大きくしている

少子高齢化が直面する担い手不足

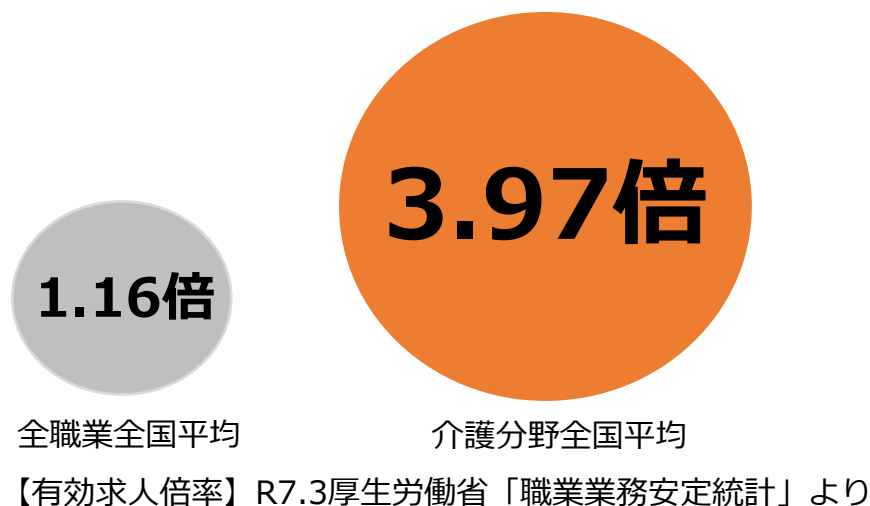
高齢者を支える現役世代の減少

高齢者一人に対しての生産年齢人口の減少は急激なスピードで進んでおり今後も進行してゆく



深刻な介護分野の担い手不足

介護分野の有効求人倍率は全産業の平均と比べて極めて高い



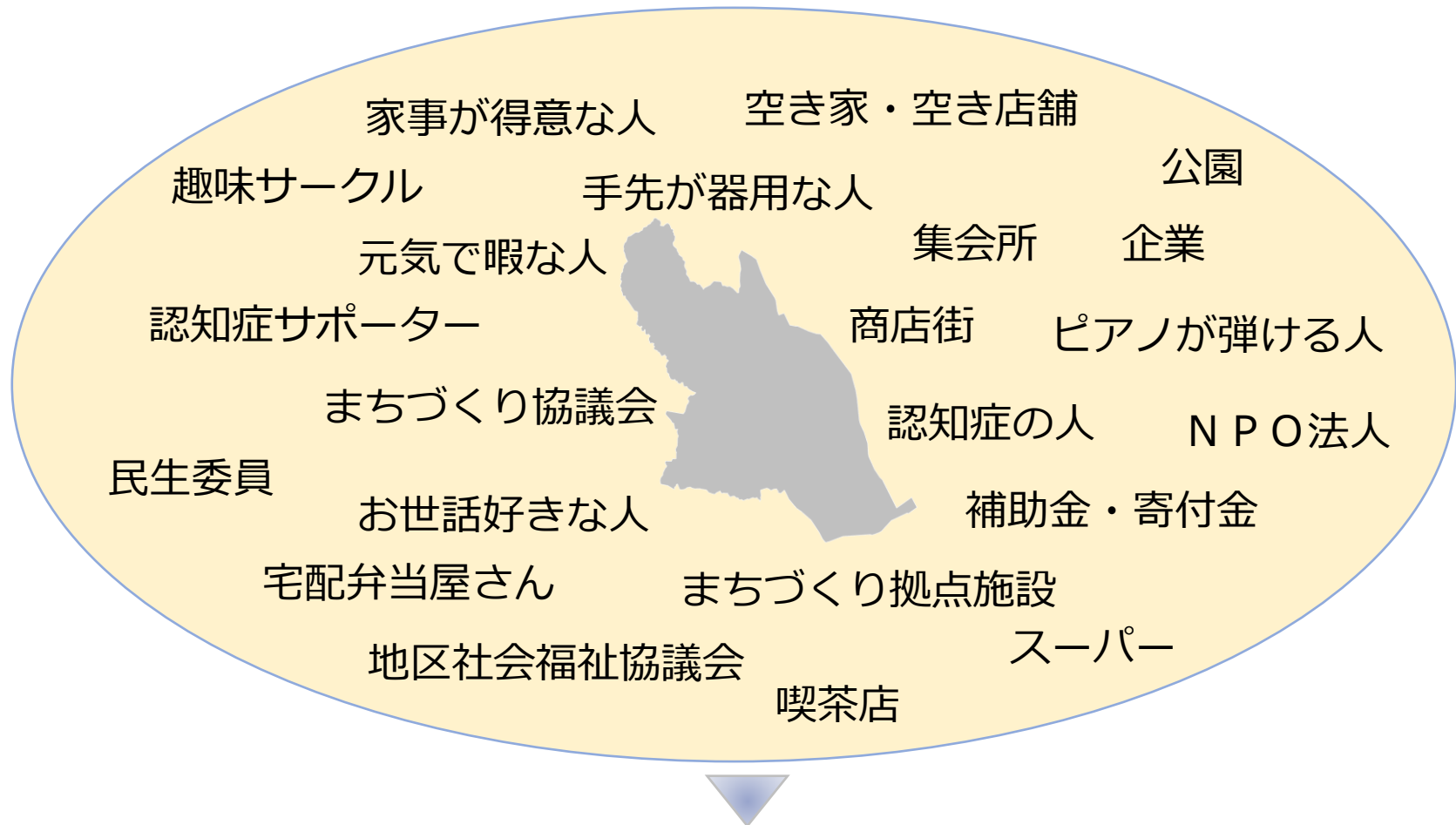
地域でも担い手不足

- ・ 民生委員の後継者がいない
- ・ 通いの場の運営者が病気になった
- ・ 自治会の運営に支障がある
- ・ 地域の役員を兼務して大変

しかし課題にばかり目を向けていては解決しない

地域にはたくさんの宝物がある

地域にはたくさんの資源（ヒト・モノ・バショ・オカネ）がある。それらとつながり力を合わせることが課題解決につながる。



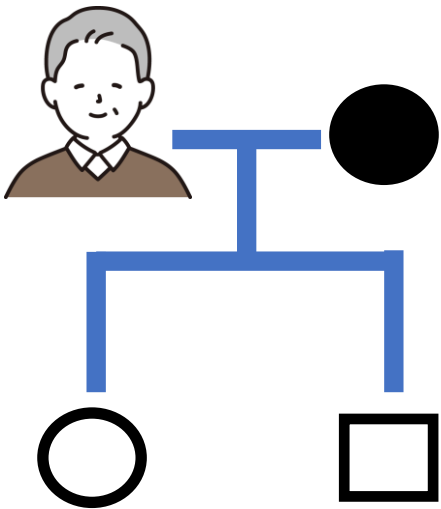
キーワードはつながること

2-①. 多様な資源で暮らしを支えた事例

妻を亡くし、独居になり、ゴミ出しに困った事例

● A氏、99歳、男性、要支援1

- ・ 独居 昨年、妻を亡くした
- ・ 家事能力がなく、電子レンジも使えない
- ・ 自転車に乗り買い物はいいける
- ・ 既往歴：高血圧、物忘れあり



資源ごみの日に可燃ごみを間違えて出しており、
カラスや猫が散らかしてしまい、近所から苦情



ゴミ出しのヘルパーを検討するが、対応できる事業所がない



経緯

- ・生活支援コーディネーターが介入し、
ゴミ出しの支援をしてくれる人がいないか
地域の担い手を探す



- ・可燃ごみ前日に、民生委員が連絡し、
ゴミがあれば、本人宅を訪問してくれることになった



週1回、電話してくれており
本人はほとんどゴミを自分で出せるようになった



多様な資源で暮らしを支えた事例①



生活分類	主な生活サービスや福祉サービス
地域の支え合い活動	・ 民生委員、近隣者の安否確認 ・ 近隣の民生委員にゴミ出しの前日に電話してもらう ・ まめじゃ会（サロン）への参加 近隣者に声をかけてもらう ・ 買い物バス（まちづくり協議会）
介護保険サービス	・ 認知症対応デイサービス 血圧測定、脳トレ、機能訓練、食事の提供
医療	・ 診察、検査、内服薬の処方

結果

支援に入った民生委員は、地域で困っている人の現状が分かってきた。今後、こういったゴミ出しなどの生活支援が必要な人がいれば地域の中で、ボランティアを立ち上げたいと思っている。

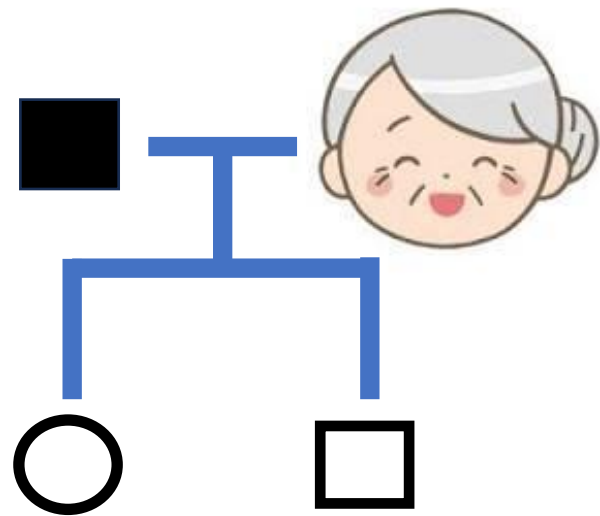


地域から孤立しないこと、つながることが大切

2-②.多様な資源で暮らしを支えた事例

自宅で過ごしたい軽度認知症の方の一人暮らしを支えた事例

●S氏、81歳、女性、要介護1



- ・ 夫と死別し一人暮らし
- ・ 子供は市内に長男、市外に長女がおり時々訪問あり
- ・ 2年前に認知症の診断が下りる
- ・ 近隣の方との関係は良好
- ・ 足腰が丈夫で、生活動作に支障はない

多様な資源で暮らしを支えた事例②



息子

最近物忘れが多くなって、同じことを何回も話すようになっているよ



娘

財布などの貴重品もしょっちゅう忘れてくるみたいで見ていて心配



民生委員

最近はお先から帰ってこれなくて迷子になることもあるみたい



友人

知らない水道工事の業者さんがきてトイレを見てもらい50万円も支払ったようで



自治会長

頼んでもいないサプリメントがいっぱい送られてくるって言っていたわ



郵便局

たった今、郵便局で下ろしたばかりのお金が無くなったって郵便局に駆け込んできて



警察

110番で何十年も前に亡くなったお母さんが行方不明になったから捜索して欲しいって



デイ
看護師

知らない間に足にひどい水疱ができていてどこで火傷したかもわからないみたいで

多様な資源で暮らしを支えた事例②



生活分類	主な生活サービスや福祉サービス
買い物サービス	・ 移動販売を利用 近隣の人に声をかけ同じものを購入していないか声をかけてもらう ・ 長男、長女と連絡を密にし、必要に応じて訪問回数を増やしてもらう
介護サービス	・ デイサービスに通い入浴支援を受ける（体調チェック） ・ 徘徊SOS緊急ネットワークの登録
支えあい活動	・ 民生委員、自治会長の定期訪問や普段からの見守り強化 ・ 草抜き、ゴミ当番など地域の集まりに都度声をかける ・ 通いの場の体操会に参加、事前に自宅に呼びに来てもらう ・ 配食サービスを利用し健康管理と安否確認を行う
金銭管理サービス	・ 郵便局の職員と協力しトラブルや本人の訴えがあった時にはすぐ連絡をもらえるよう連携を構築
医療	・ かかりつけ医との連携 認知症サポート医として相談

3. 地域包括支援センターの取り組み

地域みんなで支える仕組みへ

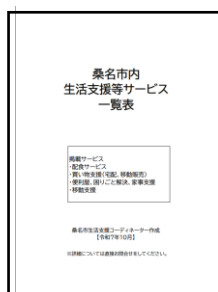
生活支援サービスの活用



移動販売 買い物弱者の対応

支えあい事業・民間サービス利用の促進

ヘルパー不足の解消



自費サービスの見える化

民間サービスの活用

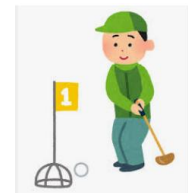


認知症声かけ訓練

地域の取り組み

つながりを育む居場所づくり

地域の通いの場の創設



すこやか体操の会

デイサービス以外の通いの場

サロン



オレンジカフェ・認知症家族会

包括・認知症伴走型で創設



支えられる側から支える側へ、活躍の場



認知症当事者から発信



一緒にウォーキング

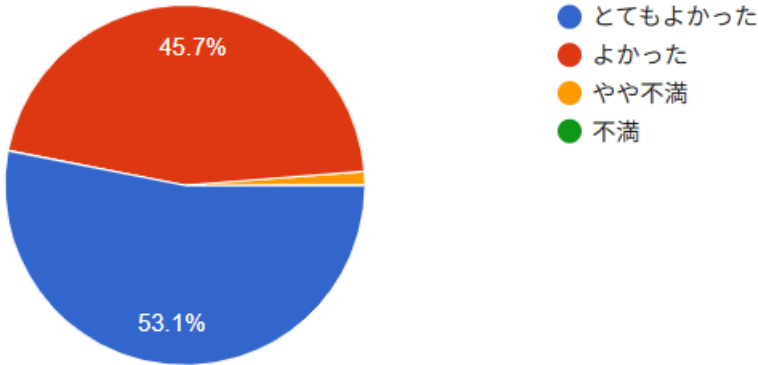


チームオレンジ

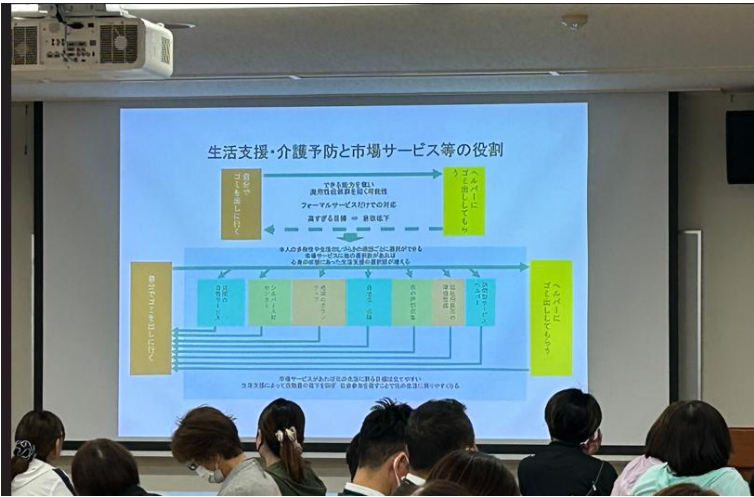


雑巾を作って小学生へ

R7.10.21訪問系事業所（インフォーマル）×ケアマネ交流会の開催

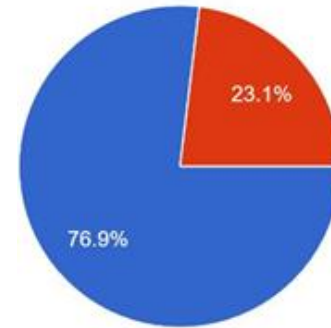


今回の交流会は、今度の業務に役立つと思いますか



桑名市の規範的統合を目指す人材育成

R7.4.25 3年未満の職員を対象に包括業務の研修会実施



- 活かせると思う
- やや活かせると思う
- あまり活かせるそうにない
- 全く活かせるとは思えない

研修で学んだことを業務に活かそうですか



4. 地域共生社会の実現を目指して

地域共生社会の実現を目指して

目指す姿と多機関や地域との協働

地域共生社会

地域包括ケア
システム

地域共生社会と地域包括ケアシステムとの関係性

項目	地域共生社会	地域包括ケアシステム
主な対象	全ての住民（子供から高齢者）	主に高齢者
目的	住民が共に支え合う社会の実現	高齢者の生活を地域で支える体制
関係性	より大きな概念	地域共生社会を実現する手段の1つ

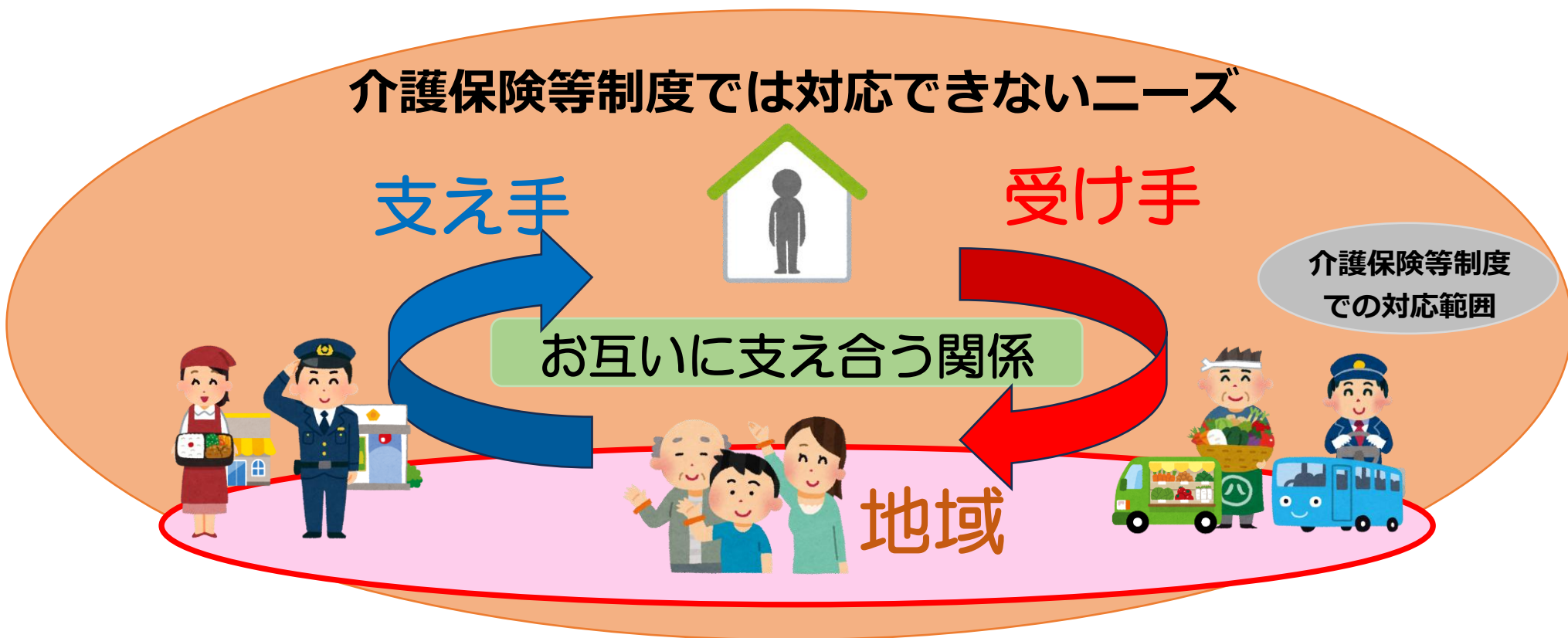
- ・ 地域共生社会と地域包括ケアシステムは目指す方向性は似ているが対象や範囲が異なる
- ・ **地域包括ケアシステムは「地域共生社会を実現するための大切な柱の1つ」**
- ・ 高齢者が安心して地域で暮らせることで地域全体がより共生しやすい社会へと発展する

地域包括ケアシステムの深化が地域共生社会の実現につながる

地域共生社会の実現を目指して

目指す姿と多機関や地域との協働

少子高齢化等により介護保険制度など既存の制度では対応できない高齢者のニーズが増加



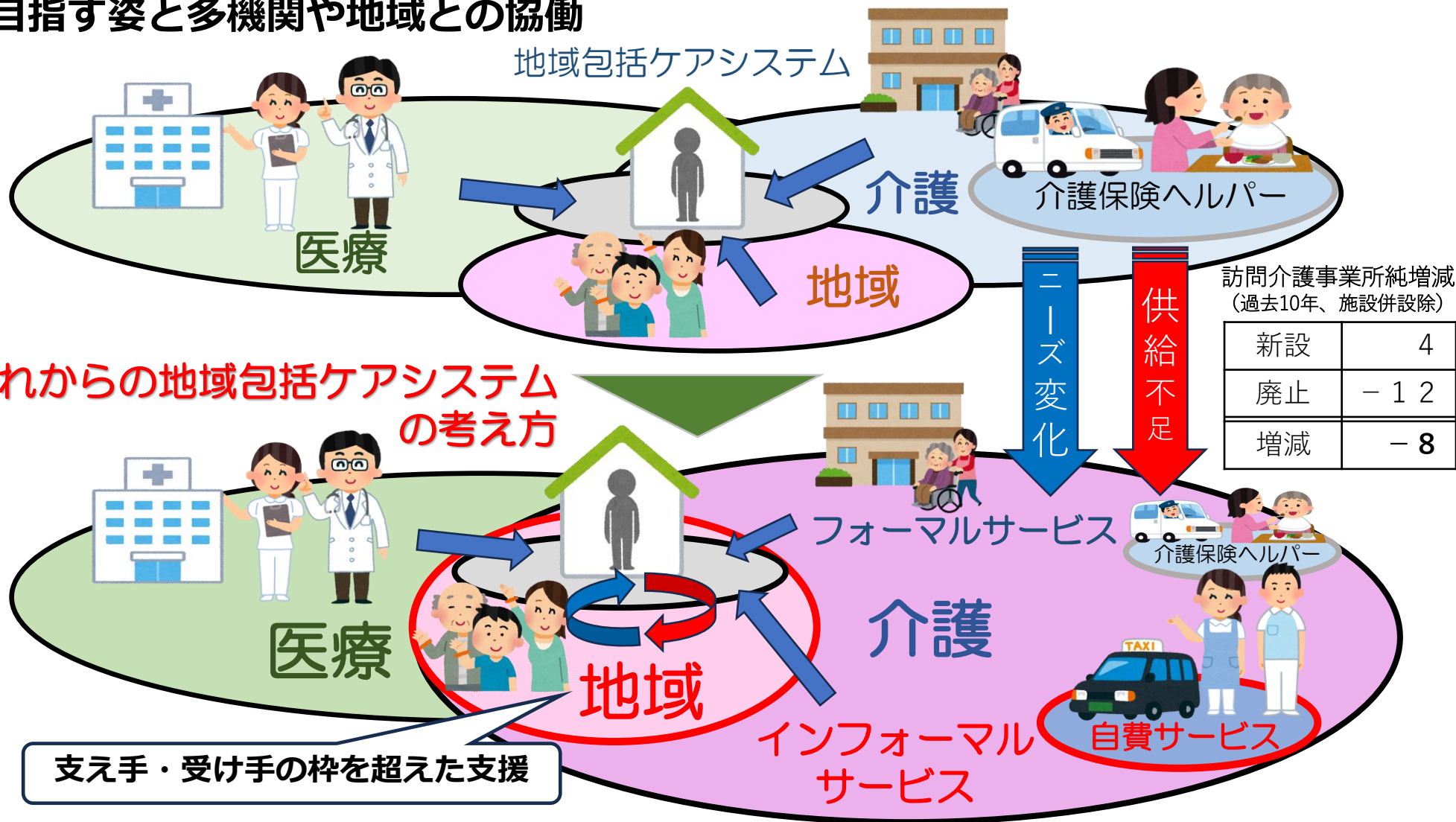
支え手・受け手の枠を超えて地域がつながることで不足を補完



資源・サービスの見える化等で地域共生社会の実現を推進

地域共生社会の実現を目指して

目指す姿と多機関や地域との協働



フォーマル+インフォーマルサービスのベストミックスへ

地域共生社会の実現を目指して

制度や分野の「縦割り」や支え手や受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が丸ごと『つながること』で地域をともに創っていく社会



私たち包括支援センターも地域共生社会の実現に取り組んでいきます